

令和7年7月30日

各行政区長 様

占冠村長 田 中 正 治

マイマイガの注意喚起について

日頃より、環境行政にご協力いただきありがとうございます。

さて、北海道各地でマイマイガの大量発生が報告されています。研究機関によると概ね10年周期で大量発生し、終息するのに2～3年かかるといわれています。

令和7年7月28日現在、占冠村内において「マイマイガ」の幼虫や成虫が散見されております。羽化したマイマイガの成虫や卵が肌に触れるとかぶれる可能性がありますので、駆除にあたっては裏面「マイマイガに注意しましょう」を参考にするなど、貴区内一般に周知をお願いいたします。

お問い合わせ

占冠村役場建設課環境衛生担当 (Tel 56-2173)

マイマイガに注意しましょう

マイマイガの幼虫は、触ると皮膚炎を起こす可能性があるため、直接触れないよう注意が必要です。特にふ化したばかりの幼虫は、毒毛があり、触れるとかゆみや発疹が出る場合があります。また、糸を吐き風に乗って移動するため、洗濯物にも付着し、屋内に侵入する場合があります。

成虫の駆除について

出現時期は7月から8月とされており、成虫の寿命は10日前後です。

成虫は水銀灯などの照明の近くや白い外壁などに集まる性質があります。成虫に薬剤の効果は薄いようですので、火ばさみなどで回収するほか、手袋をして直接手で集める方法が有効です。

その際、鱗粉（りんぷん）が舞い上がるため、マスクやゴーグルが必要です。捕まえた後は、埋立ごみで出してください。

※ 鱗粉（りんぷん）については、皮膚の弱い人やアレルギー体質の人の場合は、触れるとかぶれる恐れがあります。

卵の駆除について

出現時期は8月から翌年5月とされています。卵には薬剤の効果は期待できませんので、はぎ取って埋立ごみに出すか、土を5cmくらい掘って土中に埋めてください。はぎ取る方法として、ヘラを使用するほか、角型のペットボトルを輪切りにして利用すると効果的です。また、ガムテープやロール式のカーペットクリーナーなどの粘着テープで卵をはぎ取る方法も有効です。

幼虫の駆除について

出現時期は5月～8月とされています。ふ化直後から糸を吐き、風で移動します。初期の幼虫の毛には毒があり、触れるとかぶれることがあります。幼虫が小さいうちは、市販の殺虫剤を使用することが効果的です。幼虫が大きくなったら殺虫剤が効かなくなるので、火ばさみなどで捕まえて、少量の家庭用せっけんを溶かした水につけて駆除することが効果的です。